

第2回 矢作川感謝祭議事録

日 時 : 平成 29 年 4 月 27 日 (木) 19 時～

◆決まったこと

○規約について (添付ファイル)

- ・「自然の中で～」 ⇒ 「矢作川で～」 ※自然だとぼやけてしまう。
- ・「人々に伝えることを目的～」 ⇒ 「人々に伝え、共感と行動へとつながることを目的に～」
※伝えるだけでは、次につながらない。

○役員について

- ・会長 : 阿部 夏丸 (矢作川水族館) ⇒ 内田 良平 (矢作川水族館)
- ・副会長 : 有我 都 (矢作川水族館)

○開催について

- ・開催日 : 9 月 10 日 (日) に決定 ⇒ **2 日 (土) に変更**
- ・豊田市内だけでなく、矢作川流域 (山、川、海) のフェスとして、いろんな人が関わることができるようにつなげていく。
※山では既にそれぞれの森林組合がつながっている。矢作川漁協だけでなく、海の漁協ともつながり取り組んでいくこととか。
- ・目標参加人数 800 人～1,000 人を目指し、イベント内容、飲食などの出店数、会場レイアウト、広報、協賛など、部会毎で内容検討を進めていく。
- ・H28 の参加者 600 人 (内訳 : 川遊び約 300 人、スタッフ約 100 人、一般参加 200 人) 一般参加者が来てくれるよう広報の方法や開催内容を検討していく。
- ・チラシやポスターについては、全体のイベントと川遊びの案内をそれぞれ分ける。
※川遊びは、事前申込制のため情報量が多いことから、全体イベントと一緒にチラシを作るとどっちの案内かわかりづらい。
- ・天然アユの塩焼きは、事前に集めたものでなく、当日のアユ釣り大会で釣れたもの。

◆今後検討していくこと

- ・アユの放流をどうするか? (子供がアユに触れる体験)
※時期的なことから、放流することの狙いが見えない。
※子供に対して、矢作川に棲んでいるアユは、放流によるものだと思われてしまうのではないか。天然アユ本来の生態、回遊魚 (遡上～降下) であることを伝えるべきではないか。
※塩焼きアユの串打ちや実際に焼く体験を考えたかどうか。
- ・次回、実行委員会までに各部会で計画素案を検討。

◆話題提供

- ・矢作川のロゴ入り T シャツ等のグッズを販売し、売り上げの一部を感謝祭の運営費 (H30) に充てられるようなことを考えている。(新見)